

## 新年の幕開けを共に祝う! 組合員相互の融合第一に



加貫順三理事長

### 近畿印刷産業機材協同組合 2006年 新年互礼会

1月26日、ホテルモントレ ラ・スール大阪  
組合員らおよそ90名が出席



新年互礼会  
会場

近畿印刷産業機材協同組合は1月26日、ホテルモントレ ラ・スール大阪において新年互礼会を開催。組合員らおよそ90名が駆けつけ、新年の門出を共に祝った。また当日は互礼会に先立ち経営者意識改革セミナーも併催され、社会保険労務士の岡本眞氏(南オフィス人事教育社長)を講師に招いて「経営と人的資源の有効活用」と題した講演が行なわれた。

互礼会の冒頭、新年の挨拶に立った加貫順三理事長は、昨今の耐震構造偽造  
セミナー会場

問題やライブドア不正会計問題にふれ「商道徳を無視した商法は長続きしない。旧住友財閥の初代総理事・広瀬幸平の『常ニ公利公益ヲ旨トシテ営業ノ進路ヲトル』という言葉は時代を超えて商取引の世界に身をおくものとして忘れてはならないものだ」との心境を述べた。

また、当日のセミナーをはじめ、昨年8月より中小企業人材確保推進事業助成金を活用した事業の経過と今後の予定について報告した後、「当協組は印刷関連機械メーカーをはじめ、材料や資材・インキなど全ての機材サプライヤーが加入しているのが特色の団体。私は理事長就任時から組合員相互が融合できる場をご提供することを第一に考えてきた」とし、「組合員・従業員交流ポウリング大会」や「ビア・パーティ」開催に加え、「ALL IN PRINT CHINA2006視察ツアー」の企画を紹介。理解と協力を求めた上で、多くの参加を呼びかけた。

この後、弓倉清副理事長による乾杯発声で祝宴へと移り、新年を祝う歓談が繰り広げられた後、最後は雨森章理事リードによる一本締めでお開きとなった。



セミナー講師の  
岡本眞氏